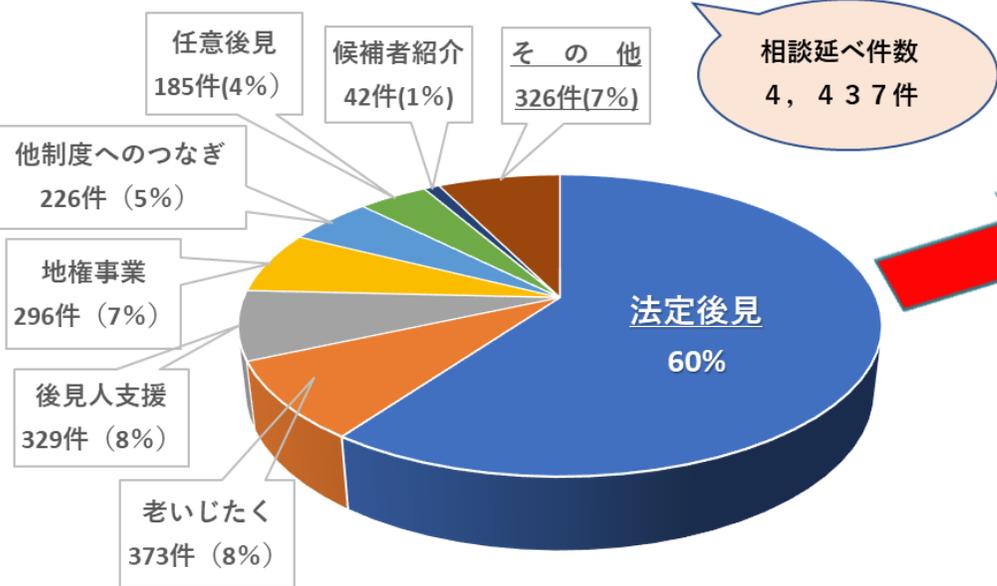
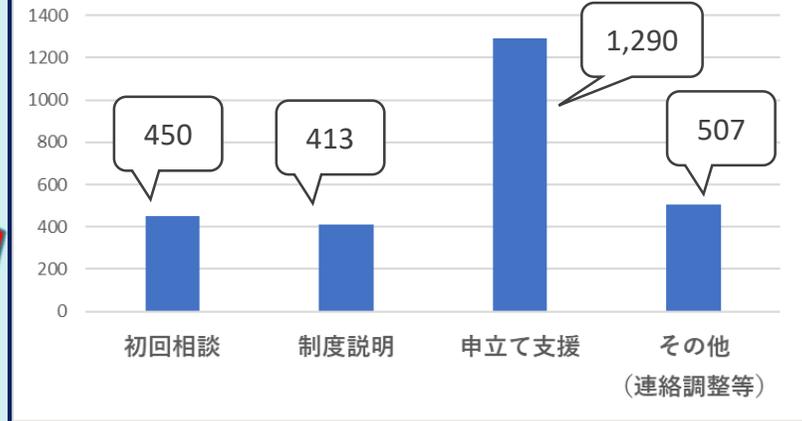


- 後見利用や地域福祉権利擁護事業利用ありきではなく、本人に必要な支援を検討
- 初期相談からチームづくりを意識した情報収集・共有と本人の意向聞き取りを重視したアプローチ

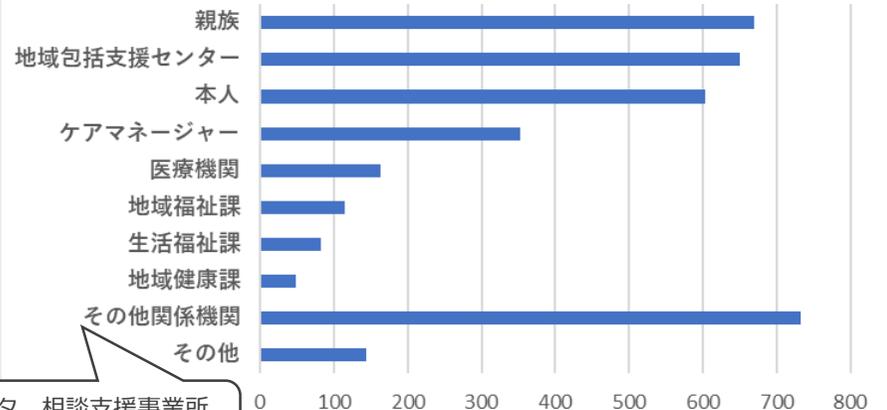
令和4年度相談内訳〔令和4年12月末現在〕



法定後見対応内訳〔延べ対応件数 2,660件〕



相談者内訳



ジョボタ、相談支援事業所、高齢者・障害者施設

- ◇ 候補者紹介 42件
補助 3件・保佐 12件・後見 22件
任意後見 1件・その他 4 (ホームロイヤール等)
- ◇ 後見人支援〔親族 35件・専門職 294件〕
- ◇ 相談内訳『その他』内容
初期認知症高齢者32%、障がい者(知的・精神)40%
内容：不安の傾聴、書類(役所関係等)を一緒にみてほしいなどが多くを占めている。